

障害福祉サービス費等の 電子請求について

宮城県国民健康保険団体連合会

※本講義は、
「講義資料1-2 障害福祉サービス費等の電子請求について」
を主に使用してご説明しております。

資料をお手元にご用意いただき、ご視聴ください。

いつも大変お世話になっております。

わたくし、宮城県国保連合会の今野と申します。

わたくしの方からは、障害福祉サービス費等の電子請求について、ご説明させていただきます。

では、「障害福祉サービス費等の電子請求について」という資料をご覧ください。

1 電子請求受付システムについて

資料P1 「(1)請求提出期間」
をご覧ください。

2

はじめに、1 電子請求受付システムについて、ご説明させていただきます。

(1) 請求提出期間についてです。

障害福祉サービス費等の請求に関しては、「介護給付費等の請求に関する省令」により、インターネットで行うことと定められており、紙もしくは媒体等での請求は受付けておりません。そして、請求提出期間は毎月1日から10日までとなり、請求締切日時は、土日祝日に関わらず、毎月10日の17時15分までとなっております。

1 電子請求受付システムについて

資料P1 「(1)請求提出期間」
をご覧ください。

3

また、1日から10日の間に送信いただいた請求データに誤りがあった場合には、請求締切となる10日の17時15分まででしたら、事業所さまにおいて、電子請求受付システムから請求データの取下げ及び再請求を行うことが可能です。請求データの取下げ方法については、「電子請求に関するよくあるお問い合わせ」という資料の「Q5 誤った内容で請求をしてしまった」ケースに詳細を記載しておりますので、後ほどご覧ください。

1 電子請求受付システムについて

資料P1～2 「(2)パスワード」
をご覧ください。

4

次に、(2)パスワードについて、ご説明いたします。

まず、①パスワードの入力誤りについてですが、パスワードはアルファベットの大文字、小文字を区別しますので、ログインできない際は、文字入力モードを改めてご確認ください、正確にパスワードを入力しなおしてください。

なお、連続してパスワードを3回誤ると、システム側で一時的にロックがかかります。このロックは30分経過すると自動的に解除されますが、お急ぎの際には本会にお問い合わせください。

1 電子請求受付システムについて

資料P1～2 「(2)パスワード」
をご覧ください。

5

続いて、②パスワードの変更ですが、電子請求受付システムのログインパスワードには、セキュリティ上の観点から180日の有効期限が設けられています。パスワードの有効期限が近付くと、2ページにございますとおり、ログインする際にパスワード変更の案内が表示されます。変更せずに有効期限が過ぎてしまうとログインができなくなり、請求ができなくなってしまうケースがございますので、案内が表示された際には速やかにパスワードを変更していただくよう、お願いいたします。

1 電子請求受付システムについて

資料P1～2 「(2)パスワード」
をご覧ください。

6

紛失等の理由により、パスワードの再発行が必要な場合には、本会ホームページより、「電子請求受付システムパスワードの再発行依頼書」を印刷し、郵送にて本会にご提出ください。なお、再発行には数日かかりますので、パスワードについては紛失等しないよう、厳重に保管・管理をお願いいたします。

1 電子請求受付システムについて

資料P2～3 「(3)電子証明書」
をご覧ください。

7

次に、(3) 電子証明書についてですが、電子請求受付システムで請求を行うためには、使用するパソコンに「電子証明書」というプログラムがインストールされている必要があります。電子証明書には3年間の有効期間が設定されており、発行手数料として7,800円費用がかかります。お支払いは、発行申請の翌月以降に給付費との相殺となりますが、希望により口座振込も可能ですので、ご希望の際はお早めに本会までご連絡をいただければと思います。

1 電子請求受付システムについて

資料P2～3 「(3)電子証明書」
をご覧ください。

8

電子証明書は、3年ごとに更新の手続きが必要です。更新できる期間は、電子証明書の有効終了年月日の3か月前から有効終了年月日までとなります。ここで注意していただきたいのが、3ページの※印にありますとおり、更新手続きには「電子証明書発行用パスワード」が必要になります。こちらは、事業所開設時に本会より郵送いたします、テストIDが記載されている「電子請求登録結果に関するお知らせ」に記載されております。頻繁に使用するものではございませんが、必要なものとなりますので失くさないよう、ご注意ください。

1 電子請求受付システムについて

資料P2～3 「(3)電子証明書」
をご覧ください。

9

電子証明書発行用パスワードを紛失した場合ですが、ユーザIDが[HJ]から始まる事業所さまへは、当初のパスワードを再通知することが可能ですので、本会ホームページより、「電子請求受付システムパスワードの再発行依頼書」を印刷し、郵送にて本会へご提出ください。

1 電子請求受付システムについて

資料P2～3 「(3)電子証明書」
をご覧ください。

10

ただし、ユーザIDが[HD]から始まる代理請求を行っている事業所さま、または、既に電子請求受付システムで電子証明書発行用パスワードの再発行を行ったことのある事業所さまについては、ご依頼をいただいても、電子証明書発行用パスワードを再通知することはできませんので、ご自身で電子請求受付システムよりパスワードの再発行を行っていただくようになります。なお、電子証明書発行用パスワードを電子請求受付システムから再発行した場合、以前のパスワードで取得した電子証明書は使用できなくなりますので、ご注意ください。

1 電子請求受付システムについて

資料P3～4 「(4)代理請求」
をご覧ください。

11

続いて、(4)代理請求についてご説明いたします。

障害者総合支援または介護保険における介護給付費等の請求事務を事業所に代わり、第三者が行う場合、もしくは同一の法人が複数の事業所を運営しており、法人本部等の請求担当者が複数事業所分の請求を集約して、1か所から送信する場合を「代理請求」と呼びます。

代理請求は、事務の効率化や電子証明書発行手数料の負担軽減等のメリットがございますが、事業所単位での請求情報送信と通知文書の取得ができなくなりますので、ご検討の際はご留意いただければと思います。

2 仮審査について

資料P4をご覧ください。

12

次に、4 ページをご覧ください。2 仮審査についてです。

本会では、請求締切日の2 営業日前を基準日として、仮審査を行っております。こちらは、仮審査の段階で警告やエラーとなった請求情報について、事業所さまへ通知し、請求情報の差替え等を行うことで、返戻件数を削減させることを目的としております。

「仮審査処理結果票」が届きましたら、請求内容を今一度ご確認いただき、誤りがあれば10 日の17 時15 分までに、電子請求受付システムより請求情報の取下げ及び再請求を行ってください。取下げをしなかった請求情報については、そのまま本審査まで取り扱いますのでご承知おき願います。

3 過誤調整について

資料P4をご覧ください。

13

続いて、3 過誤調整についてご説明いたします。

過誤調整とは、支払い済みの給付実績に誤りがあり、取下げを市町村に依頼し再作成した請求情報を新たに提出することで、給付費の過不足を相殺するものです。

なお、「利用者負担上限額管理結果票」は過誤調整の取下げ対象にはなりませんのでご注意ください。

3 過誤調整について

資料P4をご覧ください。

14

過誤調整を行う際は、「過誤依頼書」の提出が必要ですが、この依頼書は本会ではなく、受給者証交付市町村へご提出願います。よくあるケースなのですが、過誤調整の依頼をせずに再請求を行ったり、再請求をする月を間違えてしまうと、再請求をした請求情報が返戻となってしまいますので、ご注意ください。

4 振込先口座等の変更について

資料P5をご覧ください。

15

次に、4 振込先口座の変更についてです。
振込口座を変更する場合は、本会宛てに「障害福祉サービス費等の請求及び受領に関する届」をご提出願います。その際、口座通帳の表紙と、表紙を1枚めくった表紙の裏面のコピーを必ず添付していただくようお願いいたします。振込口座の変更のタイミングとしては、月末までにご提出の場合、翌月20日振込分から適用となりますのでよろしくお願いいたします。

5 問い合わせ先

資料P6をご覧ください。

16

続いて、5 お問い合わせ先についてですが、問い合わせる内容に応じてそれぞれ対応する機関が異なりますので、内容をご確認の上、各問い合わせ先へお問い合わせください。

最後に

参考資料1「請求事務ハンドブック」

参考資料2「電子請求に関するよくあるお問い合わせ」

参考資料3「障害福祉サービス費等の請求に係るエラーコード対応マニュアル」

17

そして最後に、今回資料として「請求事務ハンドブック」と、「電子請求に関するよくあるお問い合わせ」、「障害福祉サービス費等の請求に係るエラーコード対応マニュアル」を提供させていただきましたので、後ほどご覧いただきたいのですが、エラーコード対応マニュアルについてここで少しお話させていただきます。

最後に

参考資料3

「障害福祉サービス費等の請求に係るエラーコード対応マニュアル」



こちらは、事業所さまからご請求いただいた請求情報でエラーが発生した場合に、本会からお送りしております「返戻等一覧表」と「一次審査処理結果票」がありますが、その中でも特に発生件数の多いエラーについての説明と対応方法を取りまとめたものになります。イメージしやすいように、実例を挙げて説明をしておりますので、エラー内容が分からずお困りの際は、まずはこちらのマニュアルをご確認いただければと思います。それでもなお、不明な場合には、本会までお問い合わせください。

お時間の都合で説明はここまでとさせていただきますが、ご活用いただければ幸いです。

わたくしからの説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。